

静岡茶の世界を考える懇話会：国際シンポジウムと資料展示

# 世界をつなぐ静岡茶

Shizuoka tea that connects the world

静岡県立大学グローバル地域センターは、静岡県やお茶にゆかりのある有識者の御協力により平成30年2月から「静岡茶の世界を考える懇話会」を開催しています。懇話会では、お茶をめぐる社会経済・歴史文化など様々な話題について自由に討論や意見交換を行っており、さらに静岡の茶業史に係る貴重な資料のアーカイブ化を進めています。今回、懇話会の場を「世界お茶まつり2019」に移し、海外から2人の気鋭の研究者を招いて国際シンポジウムを開催します。会員の研究成果や資料等の展示を一体的に実施し、多くの皆様とともに静岡茶の世界と未来を考えてまいりたいと思います。

## 開催日時

令和元年 **11月7日** 木  
13:00～16:30 (12:30 開場)

参加  
**無料**

要・事前申込  
定員150名

## 会場

静岡県コンベンションアーツセンター  
グランシップ 10階  
1001会議室

## 会場のご案内



## アクセス

JRご利用の場合…静岡駅南口から車で15分または東静岡駅から徒歩5分  
静岡鉄道ご利用の場合…長沼駅から徒歩12分

## 主催・お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター

TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603  
https://www.global-center.jp E-mail:glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

## 後援

静岡県、静岡市、公益財団法人世界緑茶協会、公益社団法人静岡県茶業会議所  
フェルケール博物館

## 国際シンポジウム

(敬称略、休憩あり、逐次通訳)

### 開会あいさつ・趣旨説明

静岡県立大学グローバル地域センター センター長 濱下 武志

### 基調講演

「1920年代から1960年代における  
北アフリカ方面の茶市場成長と日本の参入の試み」

ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院教授  
ウイリアムG.クラレンス=スミス

### 講演1

「静岡茶の輸出と清水港の歩み」

静岡県立大学グローバル地域センター特任助教 栗倉 大輔

### 講演2

「日本緑茶とアメリカンサンドイッチ：  
1920-30年代のアメリカ市場における神宮栄蔵の活動」

ウエイク・フォレスト大学歴史学科准教授 ロバート・ヘリヤー

### 講演3

「お茶をどうぞ：現代中国の  
文化ルネサンスが生む広域経済活動」

一橋大学大学院社会学研究科教授 足羽 與志子

パネルディスカッション

## 資料展示

(11/7 11:30～16:30 10階1001会議室)

会員の研究成果やお店に伝わる帳簿(判取り帳)等の資料展示

## 協賛展示

(11/7～10 10:00～16:00 6階展示ギャラリー3)

『茶のある空間のしつらえ』東アジア文化と茶のルネサンス

- ・中国の文人茶(浅喜 CASACHY)
- ・日本の民芸の茶  
(花森家具・三保原屋)
- ・パネル解説：東アジアのお茶とは  
(静岡県立大学茶学  
総合研究センター長 中村 順行)

